

深層混合処理(CDM)工法

深層混合処理工法は軟弱土とセメント系固化材スラリーとを混合処理機を用いて攪拌・混合し、原位置で所定の強度に改良する工法です。

処理土の強度は、セメント系固化材と水との水和反応と、水和反応で生成された水酸化カルシウムと粘性土とのポズラン反応との両方により増加します。

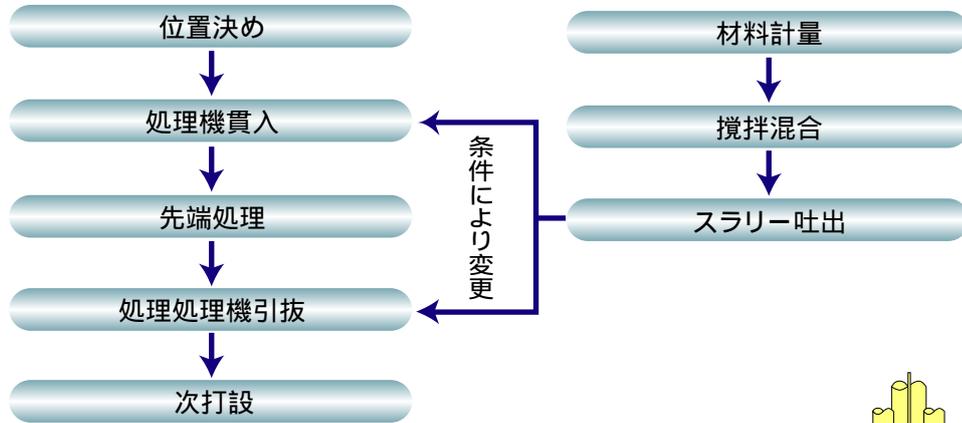
特長

軟弱地盤を原位置で固化させるので、海水汚濁の心配がありません。

低振動・低騒音の工法で、既設の周辺構造物に影響を与えません。

掘削攪拌力が大きく、比較的固い地層にも容易に貫入できます。

施工手順



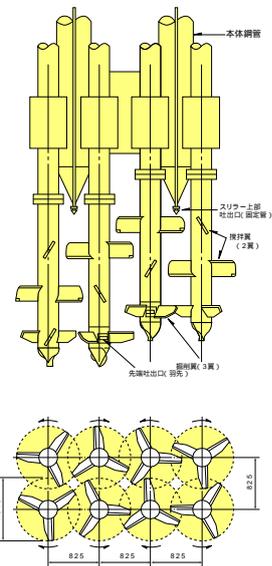
施工機械



海上作業船



施工状況(陸上)



処理機先端部
(海上作業船)

施工実績

工事名	工期	施工場所	発注者	目的	改良長	対象土量
東京空港共同仮設工事	89.6 ~ 90.3	東京都	運輸省	基礎地盤の強度増加	44.0m	66,100m ³
青海共同溝建設工事	91.11 ~ 93.10	東京都	臨海副都心建設(株)	共同溝の基礎地盤の強度増加	16.0m	53,900m ³
R1岸壁復旧工事	95.9 ~ 96.10	神戸市	運輸省	岸壁基礎地盤の強度増加	11.8m	625,200m ³
新海面処分場地盤改良工事	96.3 ~ 98.5	東京都	東京都	護岸基礎地盤の強度増加	45.0m	493,300m ³